



支縁コミュニケーションを支援する

2019年度横断術「《支縁》のネットワークをひろげるソーシャル・イノベーション」の構想

大阪大学COデザインセンターFDワークショッププレゼンテーション2018年7月26日

田中均・宮本友介・山森裕樹・辻田俊哉・池田光穂

支縁（しえん）とは？

- ❖ 「先生っ『支援』の字が誤って『支縁』になっていますが？これでいいのでしょうか？」
- ❖ 「はい、これでいいです。いままでの『支援(support)』は倒れないように支えるという意味でしたが、こちらの『支縁(keeping connections)』ほうはご縁を続けるという意味に読み替える意図的なものだからです」
- ❖ 「そうですか？！御趣旨がよくわかりました！」

「支縁」の語彙が使われる文脈

- ❖ **支縁のまちネットワーク**：宗教者と研究者のパートナーシップのもと、宗教者が関わる社会活動の「見える化」「エンパワメント」「相互交流」をはかるために2011年1月に発足したネットワーク型の組織。物質的なサポートだけでなく、様々な存在との関係性を豊かにすることを重視し敢えて「支縁」という言葉をさす。
- ❖ **(社)神戸国際支縁機構**：真宗系のボランティア機関。旧称は神戸国際支援機構(Kobe International Supporting Organization)]⇒ Kobe International **Sustaining** Organization. ca.2001
- ❖ **しまね更生支縁ネット**：島根県内の弁護士・社会福祉士・保護観察官らが罪に問われた障害者や高齢者の再犯罪防止をサポートする組織。2018
- ❖ **ウレシパの会**：アイヌ語で互いに育てあうの意味。べてるの会が中心になった浦河地域の精神保健福祉活動を物心両面にわたって支援することを目的に。2006

Amigos de Yugo という比喩



記念写真（リンドと, Dolores, Copan. ca.1986）

Yugo es un artefacto de madera al cual, formando **yunta**, se unen las mulas o los bueyes, y en el que va sujeta la lanza o pértiga del carro, el timón del arado, etc. **Yunta de bueyes unidos mediante un yugo cornal**. Fotografía realizada en Carahue, Chile.

2015年度の支縁コミュニケーション

- ❖ 社会福祉には一方的な物資の扶助（支援）だけでは解決することのできない様々な問題が含まれている。大きな課題の一つは社会的包摂のためのコミュニティ形成であり、これを「支縁」と呼ぼう。この授業では、「支縁」のためのコミュニケーションについて、いまや貧困と高齢化社会の縮図であり「福祉の…」となった大阪・釜ヶ崎でのフィールドワークを通じて考える（宮本友介の言葉）。



2019年度横断術「《支縁》のネットワークをひろげるソーシャル・イノベーション」

- ❖ 教員：田中均・宮本友介・山森裕樹・辻田俊哉・池田光穂
- ❖ 概要：大阪・釜ヶ崎（あいりん地区）への市民団体によるさまざまな活動への参加や取材を通して、ウェブメディアなどの情報発信をとおして、社会《支縁》のネットワークをひろげるための「実習事業（アクションリサーチ）」のモデルを学生・院生自身が構築できるように、教員集団が《支縁》する。

What is Cross-boundary?



さまざまな〈学際〉のタイプがあります

タイプ 1: 学生の学修履歴が学際的



タイプ 2: 教員が学際的



タイプ 3: 扱うテーマや内容が学際的

タイプ 3: 扱うテーマや内容が学際的

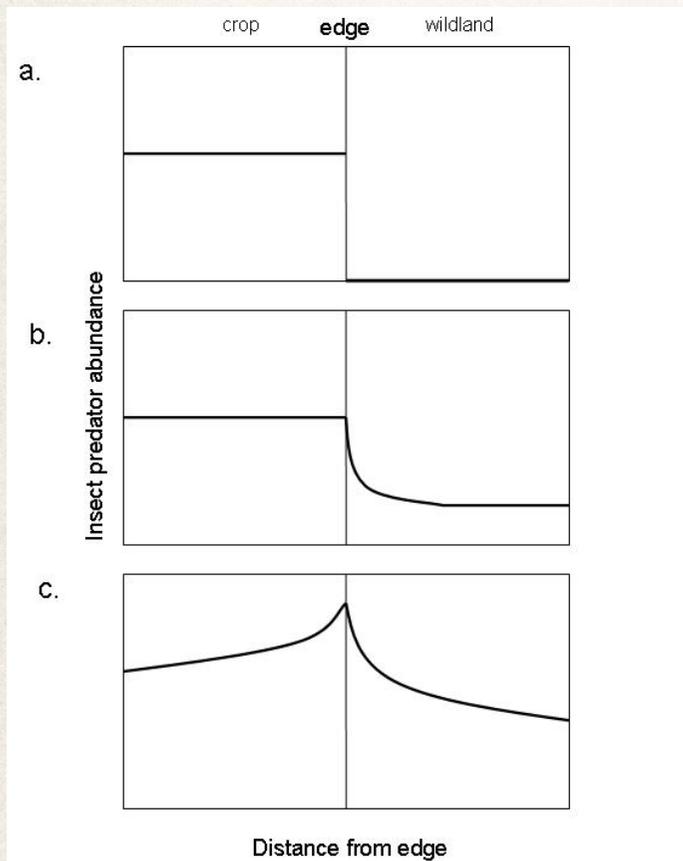


タイプ 4: 受講生が学際的



クロスバウンダリー・サブシディズ [=領域横断的なサポート]

(Cross-boundary subsidies)



領域横断的なサポート（クロスバウンダリー・サブシディズ）とは、生態学や生物環境科学の用語で、パッチ状になった生息域の境界を横断する生物や物質によって引き起こされる、その近隣の生き物に対するサポート効果（サブシディ subsidy）のことである。生き物にとってのサポートは、その自分の住み処にない栄養物や生き物の恩恵（捕食者にとっては外来の被捕食者＝餌が）このサブシディズ＝サポートにより得られるなどの効果のことである（下図のC.を参照）。

みなさまによる.....

ご〈支縁〉をおまちしております！

